

長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER



長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

—おもやい通信—

2025.2

Vol. 61

「JSTダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)最終報告会 新たなステージに進むために」の開催

本学におけるダイバーシティ推進の取組の成果を報告します。本学が令和元年度に文部科学省より採択されたJST「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」は今年度が最終年度です。現在、本学は本事業のすべての目標値を達成し、国立総合大学の中で女性教員割合は1位です。

つきましては、下記の通り、本事業を総括し、さらなるダイバーシティ推進のための課題と展望を報告する最終報告会を開催いたします。本学の多様な研究者、医師、スタッフとともに、6年間をふり振り返り議論します。

ぜひご参加ください。

【日時】 令和7年3月6日(木)14:00~16:10

【実施方法】 Zoomによるオンライン形式

【対象】 大学教職員、学生、一般(どなたでも)

【参加費】 無料

【申込&詳細】 <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/event/26718/>

※申込〆切 3月3日(月)

【プログラム】

- (1) 事業概要とその成果
- (2) 女性研究者たちと考える新しい研究力とリーダーシップ
- (3) 病院が挑戦する働き方の見直し

長崎大学ダイバーシティ推進センター
JSTダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)最終報告会

新たなステージ に進むために

3.6 木
14:00-16:10

長崎大学は令和元年度に国立研究開発法人科学技術振興機構の
科学技術人材育成補助事業「令和年度ダイバーシティ研究環
境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、今年度がその
最終年度にあたる。6年間の取り組みを振り返り、さらなるダイバ
シティ推進のための課題と展望を報告する。
どなたでもご参加ください。
参加費無料

多様な研究者、医師、スタッフたちとともに振り返る

Program

14:00 開会挨拶 高11男 総務担当理事
14:05 事業概要とその成果 矢内野匡 ダイバーシティ推進センター長・准教授
14:25 女性研究者たちと考える新しい研究力とリーダーシップ

登壇者:

相原 希美 助教(生命科学研究科(理学系))
宮崎 幸子 助教(国際学研究科)
吉田朝美 学長補佐・准教授(総合生命科学研究科(本学学系))
渡辺 心穂 教授(人文社会科学系(多文化共生学系))
高村 敬子 教授(生命科学研究科(理学系))

コーディネーター: 矢内野匡

15:15 病院が挑戦する働き方の見直し

事例報告:

薬学部 大山 俊 教授・部長/今村 政信 主任薬師
麻酔科 東島 潤 講師
形成外科 岩尾 敦彦 准教授・医局長

病院長コメント: 尾崎 誠 病院長

コーディネーター: 南賢子 大分県立メディカル・ワークライフバランスセンター長・准教授

15:55 総合コメント 山崎 康子 国立研究開発法人科学技術振興機構 フォトグラム主管
16:00 全体総括 永友 文 学士
16:05 閉会挨拶 門脇 昭子 副学長・ダイバーシティ推進センター長・教授

総合司会: 西中 朋子 ダイバーシティ推進センター
ワークライフバランス・コンシリエル

参加申込 (3/3締切) QRコードから
お申込みください。
ご質問等はセンターまでお問い合わせ下さい。

国立大学法人長崎大学 〒852-8522 MAIL: omyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
ダイバーシティ推進センター 長崎市文徳町1-14 TEL: 095-839-2889

SDセミナー報告: キャンパス・ハラスメントの実態と防止対策-個々人がすべきこと、大学がすべきこと

令和7年1月29日にダイバーシティ推進学習プログラムのSDセミナーは、広島大学ハラスメント相談室 北仲千里准教授を講師に迎えてお話をいただきました。広島大学のハラスメント相談体制は、相談室の専任教員による調整機能を充実させた、非常に先進的な体制となっています。北仲先生からは大学の中で起こるさまざまなハラスメントの実態とその対処方法についてお話をいただきました。

セクシュアル・ハラスメントとは、「仕事や学校などの関係者の間で、その立場を利用して、相手が同意していない、性的な言動をすること」と説明され、典型例として男性教員と女子学生の場合だけでなく、学生同士の間で起こる場合も話されました。

次にパワーハラスメントは、「優越的な関係(上司部下だけではなく)を背景にした言動で、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより労働者の就業環境が害されるもの」と話され、その大学版として、アカデミック・ハラスメントがあると説明されました。アカデミック・ハラスメントについては、文系・理系で生じる問題も異なるため、それぞれに具体例が詳しく説明されました。

さらに近年、大学でも問題となりつつあるカスタマーハラスメント(お客=学生、保護者、患者等からの悪質な苦情)についてもお話していただきました。

最後に、こうした問題を起こさないために教員一人ひとりが意識したり工夫すべきことと同時に、被害を受けた時の対処法、さらに組織としての対処や相談体制について説明がありました。

現在、セミナーの内容は、学内限定で見逃し配信をしています。



寿郎社、2017年、192ページ。

北仲先生の書籍もありますので、ぜひ参考にしてください。

SDセミナー 仕事と「ライフイベント」の両立セミナーを開催します

【日 時】 2月27日(木) 14:00~15:30
 【講 師】 柴田 敦巨(あつこ)氏
 【利用対象】 長崎大学病院 教職員・学生・一般
 【開催方法】 zoomによるオンライン
 【後 援】 長崎大学病院がん診療センター
 【問合せ先】 ダイバーシティ推進センター (内線 2889)



「がんを経験した看護師が気付いて築いたおしごとのはなし ~ピアメイドであふれる社会を目指して~」

今回のセミナーでは仕事をしながら、がんの治療をされ医療従事者と患者の両方の立場を経験された柴田敦巨氏から当時のワークライフバランスの実際をお伺いします。是非、ご参加ください。

→申し込みはこちらからどうぞ

令和6年度 長崎大学ダイバーシティ推進センターSDセミナー「公開講座」

2025年(令和7年)
2/27(木) zoom 14:00~15:30

しばた あつこ
 講師：柴田 敦巨 氏
 猫舌室創設者、ブランドマネージャー

「がんを経験した看護師が
 気付いて築いたおしごとのはなし
 ~ピアメイドであふれる社会を目指して~」

誰もが人生の中で、就職や結婚・子育て・病気・介護など様々な出来事を経験します。このような出来事をライフイベントといいます。現在、がんの治療や慢性疾患の治療をしながら働く方は、少なくないと思います。今回のセミナーでは、仕事をしながらがんの治療をされ医療従事者と患者の両方の立場を経験された柴田敦巨氏から当時のワークライフバランスの実際をお伺いするとともに、がんの治療に対して正しい認識を持てるよう、多くの方の学び機会にしたいと考えています。zoomによる講演です。皆様のご参加をお待ちしております。

【原簿数自伝プロフィール】
 2014年度産科として勤務。
 2014年、耳下腺がんを発見し、手術と化学放射線治療を経験。食べること、外見の変化などQOLの低下から社会的影響を受ける。同じ境遇の仲間と出会い、経験したからこそ視点を新たな価値があると実感。2020年2月に原簿室を設立。
 「生きることには驚きと感動」をコンセプトにオリジナル商品の企画販売とコミュニティの運営を通じて、食べるよろこびを感じるきっかけづくりを提供している。

【対 象】 長崎大学教職員、学生、院生、一般の方
 【申込方法】 右のQRコードより、お申込み下さい
 【開催方法】 zoomによるオンライン
 【後 援】 長崎大学病院がん診療センター **無料**

長崎大学 平852-8521 長崎県文教科1-14
 ダイバーシティ 095-819-2889
 推進センター MAIL: omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
 https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学の教職員が、治療と仕事の両立に悩んでいるときには…

- ① 学内の相談窓口
 ダイバーシティ推進センターでは…
- ② がん相談支援センター
 県内の相談窓口です。

病気・看病・介護・育児との両立について「どこに相談して良いかわからない」「制度について知りたい」など、お気軽にご相談ください。ワークライフバランス・コンシェルジュが対応します。

メール：omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
 電話：095-819-2889

「どんな治療があるの」「今後の生活はどうしたら良いの」といった、がんに関する不安、悩み、心配を相談できます。

詳しくは [こちらからどうぞ](#)。



第9回 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞 受賞者研究発表会および授与式 報告

選考委員会において厳正に選考し、優秀女性研究者賞、優秀女性奨励賞受賞者、優秀次世代女性研究者賞の3名を決定しました。受賞者研究発表会および授与式は、令和6年12月23日、文教キャンパス文教スカイホールにおいて執り行われました。

それぞれの発表は次の通りです。王奕寧さん「A Study on Island Ecotourism Development Models Based on System Dynamics: A Case Study of Amami-Oshima Island」、相原希美先生「免疫複合解析による病態関連タンパク質の同定」、松永妃都美先生「東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した住民との放射線リスクコミュニケーションに資する研究」。

永安学長からは、受賞者への祝辞とともに、受賞者が後輩を育成し、リーダーとして活躍していくことへの期待と、今後も大学として女性研究者をいっそう支援していくことが述べられました。

今後も女性研究者がその力を発揮し、広く活躍できるよう支援をまいります。



(左から門脇センター長、王奕寧さん、相原希美助教、永安武学長、松永妃都美准教授)

文教おもやい保育園 園児募集

文教おもやい保育園では、園児を募集しています。保育園の見学をご希望の方は、お気軽にダイバーシティ推進センターまでお問い合わせ下さい。

◆募集人数<令和7年2月1日時点>

- ・0歳児クラス…0名
- ・1歳児クラス…3名
- ・2歳児クラス…1名
- ・3歳児クラス…1名
- ・4歳児クラス…1名
- ・5歳児クラス…0名



2月3日に節分のつどいを行いました！鬼は外！福は内！

